

介護老人保健施設

対象 要介護 1～

医療ケアやリハビリを必要とする高齢者が、在宅復帰を目指す施設です。



みらいあ
看護師 島田 美香

高齢者が自宅で自立した生活を送れるよう、看護やリハビリなどのサービスを提供しています。また、自宅へ戻る高齢者を安心して受け入れられるよう、その家族に準備期間を提供する役割もあります。

私のような看護師のほか、リハビリの専門職や介護職、ケアマネジャー、管理栄養士など多職種のスタッフが、それぞれの専門性を発揮しながら連携する必要があるため、相互のコミュニケーションが欠かせません。「本当にこの対応でいいのか？」と常に考えさせられますが、逆に言えば、自分のやりたい看護ができるということ。入所者の皆さんが日々成長する姿を見られてうれしいです。

特別養護老人ホーム

対象 要介護 3～

常に介護が必要で、自宅での生活が難しいと認められた高齢者が、食事や排せつ、入浴などの介護を受けながら生活する施設です。



五井眺海園
介護福祉士 原田 清彦

個室を利用して生活できるユニット型の施設で、日常生活全般の支援を行っています。多床室の従来型よりも担当する人数が少ないため、1人ひとりのニーズに対応しやすいのが特徴です。

症状の重い方もいて、大変なことも多いですが、その症状や行動には1つ1つ理由があります。背景を理解し、言葉で伝えることの難しい入所者の皆さんに寄り添えるよう、日頃からあいさつや何気ない会話で、信頼関係を築くことを心がけています。最期まで関わることができるので、やりがいも大きいです。

▼施設選びのポイント

- ・ 職員の対応
- ・ 施設の雰囲気
- ・ 現在の介護度
- ・ 費用
- ・ 医療行為の必要性
- ・ 利用期間

施設を選ぶポイントは介護度や費用などいくつかありますが、1番大切なのは、職員や施設の雰囲気です。本市には、高齢者に寄り添った介護を行う施設がいくつもありますので、困ったときは、気軽に地域包括支援センターやケアマネジャーにご相談ください。



介護サービス機関連絡協議会
施設系介護部会 部会長 三浦 史寛